

ケース 1 1Hz-Lowpass (水平二成分のベクトル合成値)

特性化震源モデル

Kobayashi et al. のモデル

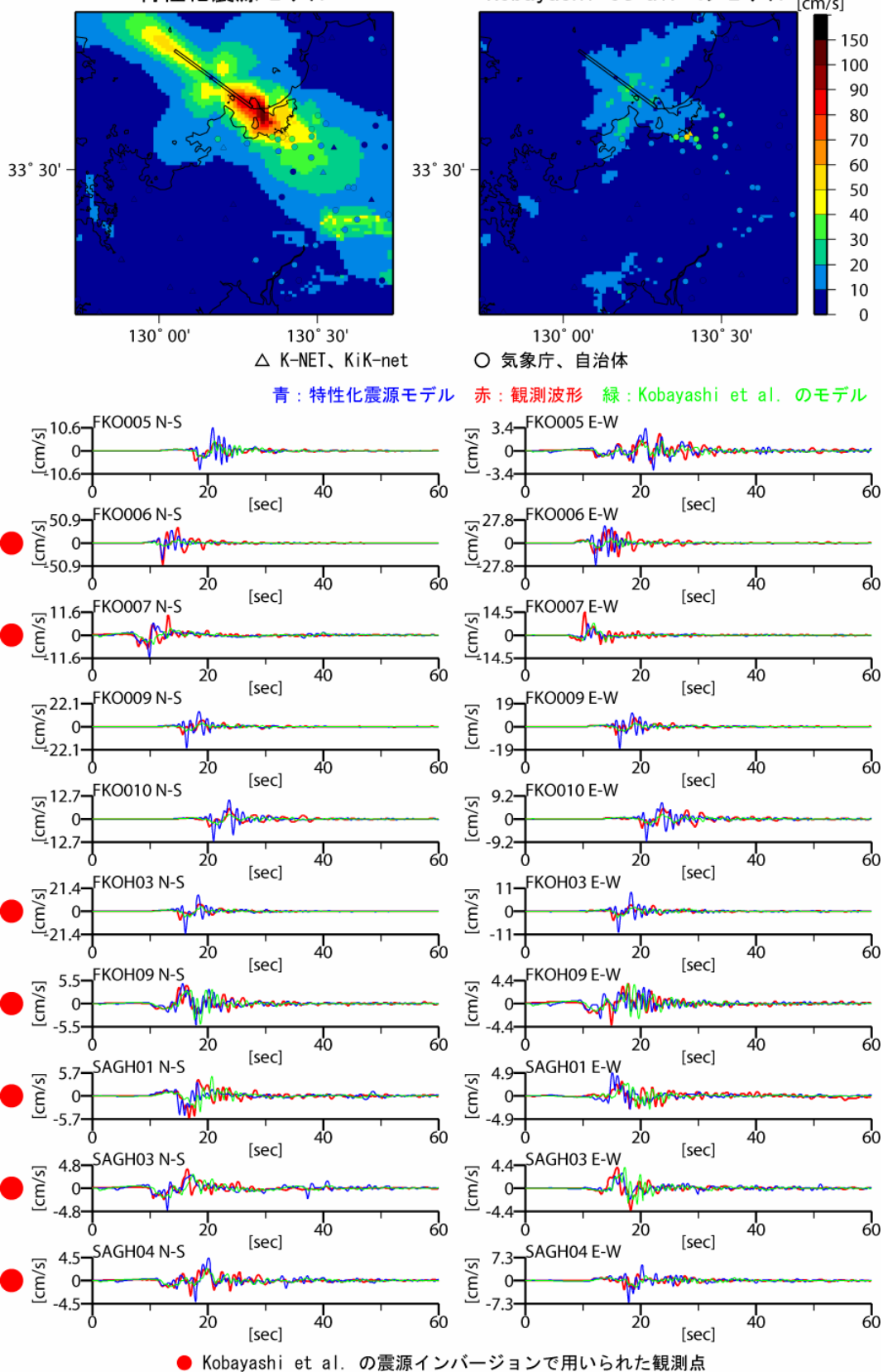


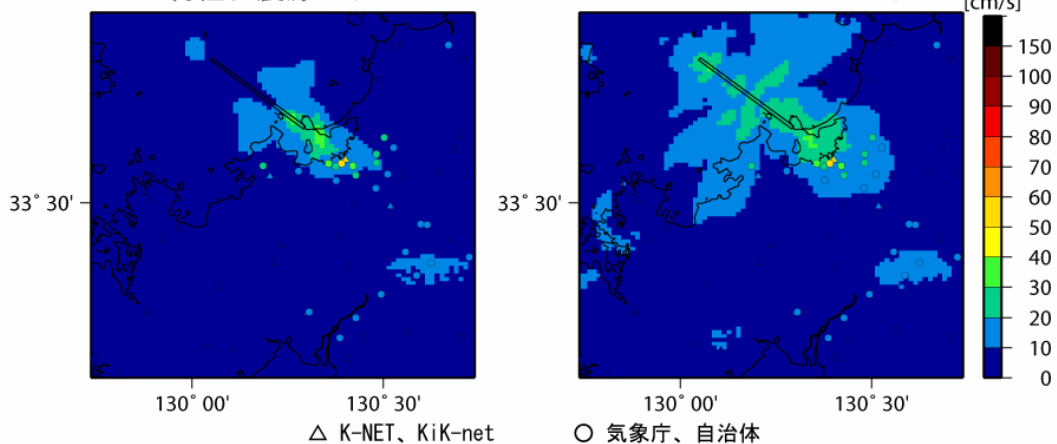
図 20-1 波形インバージョンに基づく震源破壊過程を用いた計算波形との比較 (ケース 1)

(計算波形は工学的基盤上 ($V_s=600\text{m/s}$)、観測波形は地表の速度波形)

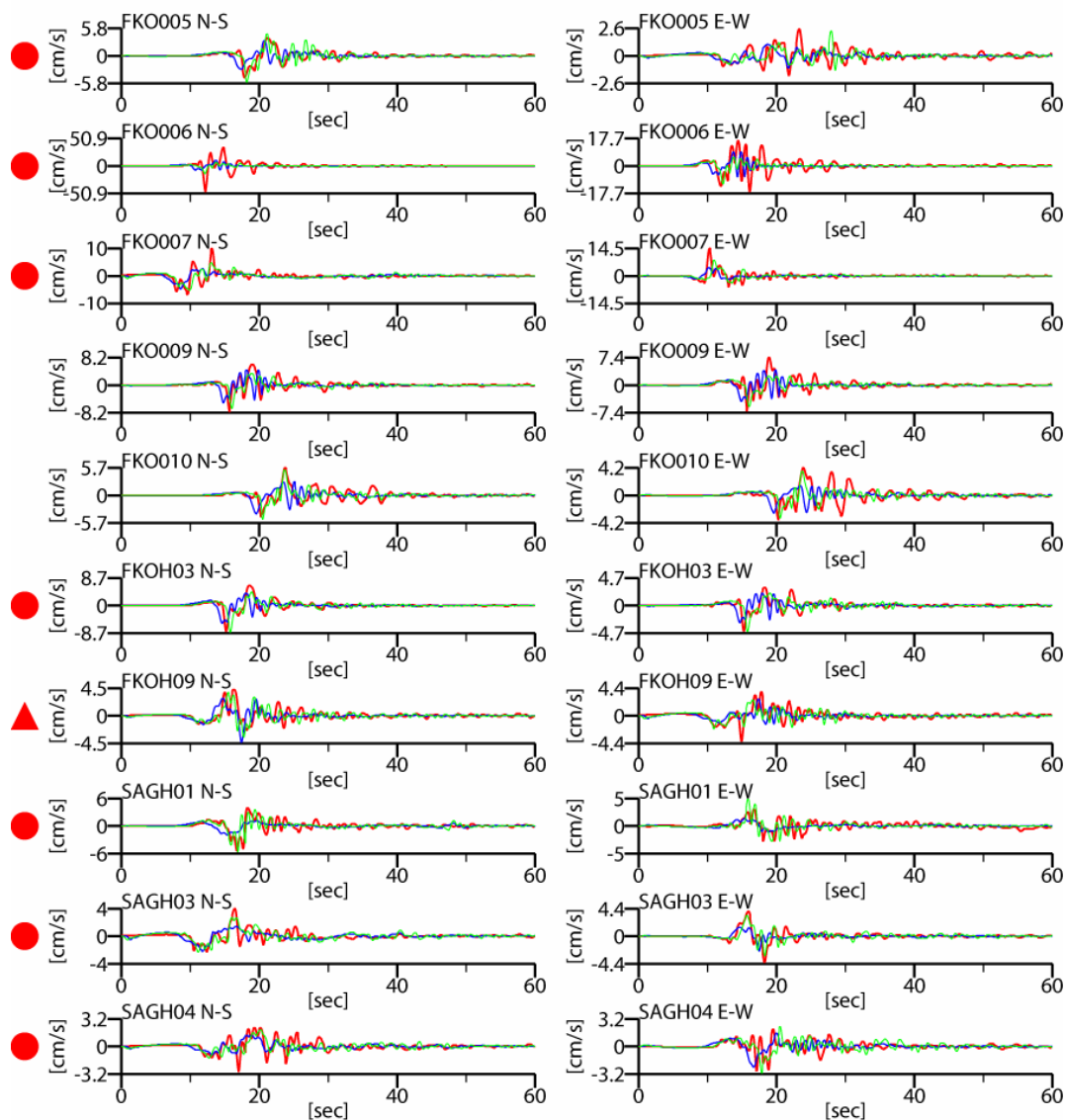
ケース 2 1Hz-Lowpass (水平二成分のベクトル合成値)

特性化震源モデル

Asano and Iwata のモデル



青：特性化震源モデル 赤：観測 緑：Asano and Iwata のモデル

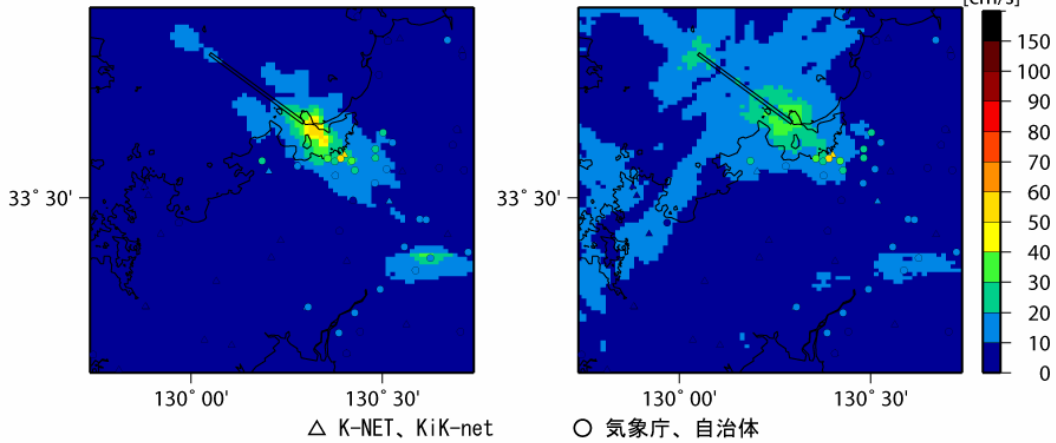


● Asano and Iwata の震源インバージョンで用いられた観測点 (▲は近接のK-NET観測点を使用)

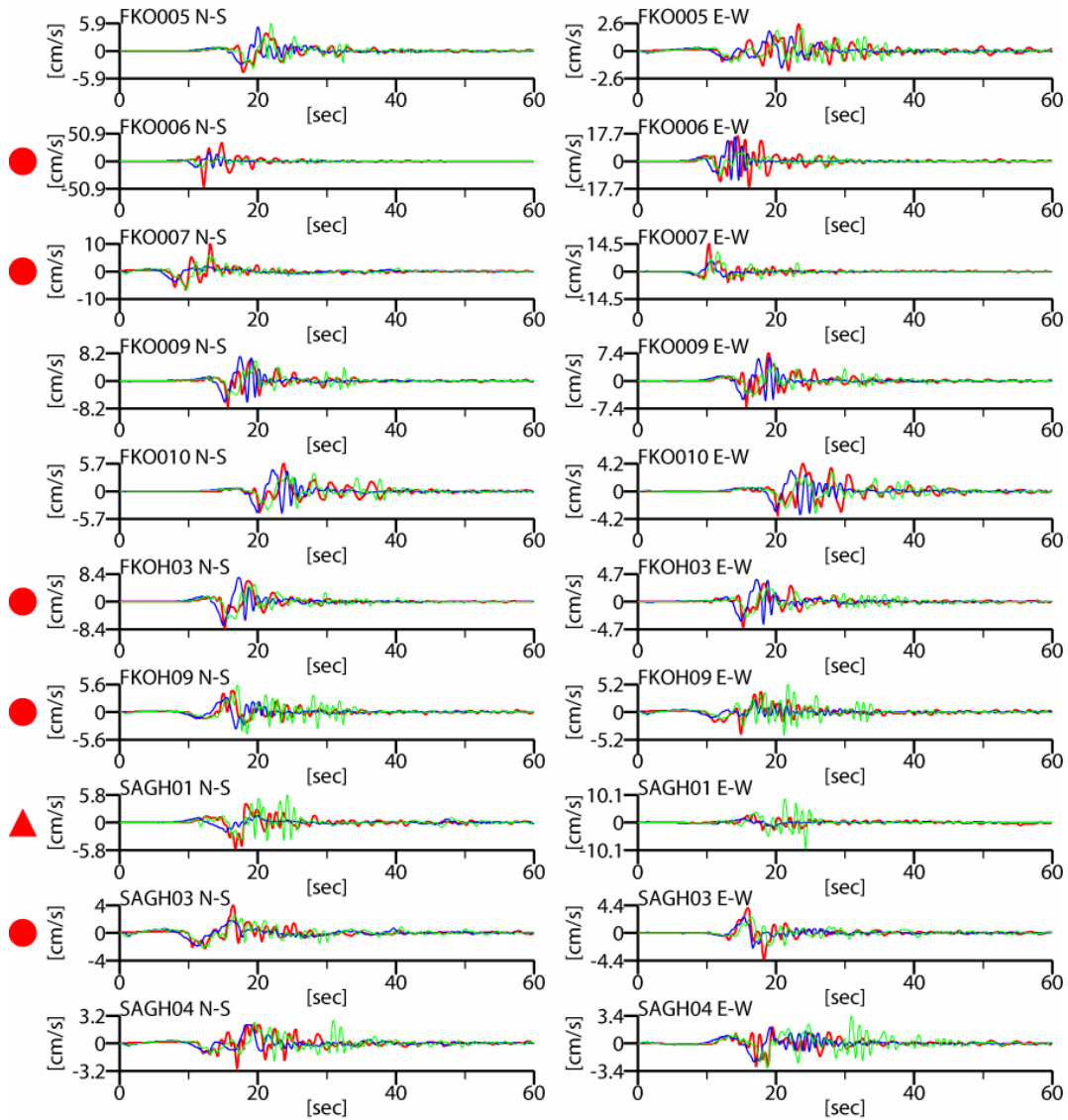
図 20-2 波形インバージョンに基づく震源破壊過程を用いた計算波形との比較 (ケース 2)
(計算波形は工学的基盤上 ($V_s=600\text{m/s}$)、観測波形は地表の速度波形)

ケース3 1Hz-Lowpass (水平二成分のベクトル合成値)
 特性化震源モデル

Sekiguchi et al. のモデル



青：特性化震源モデル 赤：観測 緑：Sekiguchi et al. のモデル



● Sekiguchi et al. の震源インバージョンで用いられた観測点 (▲は近接のK-NET観測点を使用)

図 20-3 波形インバージョンに基づく震源破壊過程を用いた計算波形との比較 (ケース 3)
 (計算波形は工学的基盤上 ($V_s=600\text{m/s}$)、観測波形は地表の速度波形)